

第 23 回 葉 山 町 都 市 計 画 審 議 会

会 議 録

令和 7 年 1 1 月 6 日開催

第 23 回葉山町都市計画審議会会議録

日時：令和 7 年 11 月 6 日（木）

14 時 00 分～15 時 00 分

場所：町役場 3 階 議会協議会室 2

出席	苦瀬博仁会長	川上亮委員
	小川嘉一委員	五十嵐敬〃
	荒井直彦〃	津吉彰郎〃
	待寺真司〃	田中多江子〃
	河野朗〃	三橋馨〃

欠席	鈴木正委員	柳新一郎委員
	窪田美樹〃	

事務局	都市経済部雨宮部長	都市計画課松井課長
	伊藤課長補佐	桃田主事補

傍聴者 なし

【松井課長】 それでは定刻より若干早いですが、皆さんお揃いのようなので、本日の第 23 回葉山町都市計画審議会を開会とさせていただきます。本日は、ご多忙のなか、葉山町都市計画審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。まず、会議に先立ちまして、副町長の小野より一言ご挨拶申し上げます。

【小野副町長】 葉山町副町長の小野でございます。本日、町長の山梨が所用により不在のため、町長に代わりあいさついたします。

本日はお忙しい中、葉山町都市計画審議会にご出席をいただき誠にありがとうございます。また、日頃、委員の皆様には都市計画行政をはじめ、町の行政執行にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて本日は、都市計画マスタープランの改定について答申をいただくと伺っております。今回の都市計画マスタープランの改定では、自然災害の激甚化や少子高齢化などの社会情勢の変化を捉え、特に防災・減災と交通ネットワークについて手厚い記載とさせていただいているところでございます。また、本審議会におきましては、令和 6 年 11 月に方向性を報告させていただきまして、令和 7 年 10 月に諮問させていただきました。委員の皆様におかれましては、これまで 1 年以上に渡り審議会中はもとより、審議会を離れた場でも個別に貴重なご意見をいただいていると伺っております。改めてお礼申し上げます。

本日は、それらを取りまとめたうえで、葉山町都市計画マスタープラン（案）としてご提示させていただきます。この都市計画マスタープランについて、ご審議いただく最後の場となろうかと思えます。どうか、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【松井課長】 それでは、これより第 23 回葉山町都市計画審議会を開会させていただきます。本日の議事進行は、苦瀬会長にお願いをするところでございますが、議事に入るまでの間、僭越でございますが、私、松井が進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。それでは、審議会を開催するにあたりまして、会議の公開と議事録の作成について併せてご報告を申し上げます。

本日の会議は原則公開となっております。傍聴希望者がいる場合につきましては、入室を許可いたしますので、ご了承願います。また会議録作成のため、会議を録音させていただきますので、併せてご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは次第の 2 でございます。本日の審議会の出席委員は 10 名でございます。委員の過半数が出席をされておりますので、葉山町都市計画審議会条例第 6 条第 2 項の規定により、本審議会が成立していることをご報告申し上げます。

次に、本日ご出席の委員の皆様のご紹介、及び町職員の紹介をさせていただきます。お手元の委員名簿に従いましてご紹介いたします。なお、時間の都合もございますので、私の方からお名前を読み上げさせていただきまして、その場で起立いただきまして、お名前だけで結構です。ご挨拶いただければと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、ご紹介させていただきます。東京海洋大学名誉教授の苦瀬先生でいらっしゃいます。

【苦瀬会長】 苦瀬でございます。本日はよろしくお願いいたします。

【松井課長】 次に、一般財団法人神奈川県建築安全協会理事の小川先生でいらっしゃいます。

【小川委員】 小川でございます。よろしくお願いいたします。

【松井課長】 次に、総務建設常任委員会委員長の荒井委員です。

【荒井委員】 荒井です。よろしくお願いいたします。

【松井課長】 次に、教育民生常任委員会委員長の待寺委員です。

【待寺委員】 待寺です。本日もよろしくお願いいたします。

【松井課長】 次に、葉山警察署長の河野委員です。

【河野委員】 河野でございます。よろしくお願いいたします。

【松井課長】 次に、神奈川県横須賀・三浦地域県政総合センター所長の川上委員でいらっしゃいます。

【川上委員】 10月1日付で着任いたしました川上です。どうぞよろしくお願いいたします。

【松井課長】 次に、神奈川県横須賀土木事務所長の五十嵐委員でいらっしゃいます。

【五十嵐委員】 五十嵐でございます。よろしくお願いいたします。

【松井課長】 次に、葉山町内会連合会長の津吉委員でいらっしゃいます。

【津吉委員】 津吉でございます。よろしくお願いいたします。

【松井課長】 次に、建築士の三橋委員でいらっしゃいます。

【三橋委員】 はい、三橋です。よろしくお願いいたします。

【田中委員】 次に、宅地建物取引士の田中委員でいらっしゃいます。

【田中委員】 田中です。よろしくお願いいたします。

【松井課長】 続きまして、本日出席をしております職員の紹介をさせていただきます。
都市整備部長の雨宮でございます。

【雨宮部長】 雨宮です。よろしくお願いいたします。

【松井課長】 都市計画課課長補佐の伊藤でございます。

【伊藤課長補佐】 伊藤です。よろしくお願いいたします。

【松井課長】 主事補の桃田でございます。

【桃田主事補】 桃田です。よろしくお願いいたします。

【松井課長】 最後に、改めまして私、都市計画課長の松井でございます。本日はよろしくお願いいたします。

本日の会議の時間でございますが、概ね1時間程度を目途にと思っております。円滑な議事進行にご協力のほどよろしくお願いいたします。続きまして、本日配布させていただきました資料の確認をさせていただきます。先ほどの委員名簿のほかに、第23回葉山町都市計画審議会次第1枚でございます。次に、議案第35号の資料といたしまして、葉山町都市計画マスタープラン素案からの主な変更点と修正が1枚ございます。続きまして、葉山町都市計画マスタープラン案でございます。冊子が1部ございます。以上になりますが、不足等がございましたら事務局までお申し付けください。

本日ですが、先ほど傍聴というお話もありましたが、傍聴者はゼロでございます。従いまして、ここからは議事に入らせていただきたいと思います。ここからの議事進行につきましては、苦瀬会長にお願いしたいと思います。会長、よろしくお願いいたします。

【苦瀬会長】 はい、かしこまりました。本日も何卒よろしくお願い申し上げます。議事次第によりますと1番目でございます。議事録署名委員の指名についてということでございます。運営要項第4条第3項の規定におきまして、議事録を作成するにあたり委員2名が署名することとされております。今回は待寺委員と津吉委員にお願いしたいと思いますがいかがでございますでしょうか。

【待寺委員・津吉委員】 承りました。

【苦瀬会長】 ありがとうございます。それではよろしくお願い申し上げます。

では次に、議事の2番目に行きたいと思います。議案第35号、葉山町都市計画マスタープランの改定についてでございます。事務局よりご説明を求めます。よろしくお願いいたします。

【伊藤課長補佐】 ありがとうございます。私の方から資料に基づきまして説明の方をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

資料といたしましては、先ほど申し上げた、「葉山町都市計画マスタープラン(素案)からの主な変更と修正」です。必要に応じて、都市計画マスタープラン(案)をご覧ください。今回の大きな修正・変更については大きく4つございます。1点目は表記のゆれに関するもので、前回の素案の中では“等”“など”や“中”“なか”の漢字やひらがなが混在するような表記がございましたが、こうした表記のゆれに関して統一させていただきました。それから、“では”“おいては”のような、同じような意味を持つものを使い分けていたところがありましたので、そちらについても“では”というかたちで統一させていただいております。2点目が計画名の整理です。一般的な都市計画マスタープラン自体に関する記載と、葉山町の都市計画マスタープランについての記載というのが混同するようなかたちで表記されておりましたので、そちらについて整理させていただきました。また、部門別計画に関しましては、固有名詞というかたちで整理させていただく中で、括弧で括るという対応をさせていただいております。3点目は、修正箇所で表現を整理したところになりますが、具体的にはこちらに表で表させていただきましたので、そのページも併せてご覧いただきながらご案内させていただければと思っております。マスタープラン(案)の方も併せてご覧ください。

1つ目の項目が18ページになります。こちら9行目とありますが、段落でいうと3段落目ですね。“そこで”から始まる記載となっておりますけれども、従来の記載の中では、「将来需要を見据えた最適化を進める」として、「最適化」という言葉で精査させていただいておりましたが、こちらの表現については総合計画の記載に揃えさせていただき「最適な配置の検討」という記載に改めさせていただいております。

次に2項目目で24ページになります。こちら24ページ最後の段の「(4)引き継がれてきた葉山の魅力を象徴する景観」以下の文章となっております。こちらについて要点だけお伝えさせていただくと、修正前では、括弧書きで「御用邸のあるまち」という表現を活かした記載としていたんですが、文章が長くなっているところもあつ

て、実際にどこが葉山の魅力を伝える景観のひとつとなっているかというところが分かりづらいというご指摘をいただいておりますので、修正後に関しましては、「明治期以降、御用邸や多くの文化人らが葉山に別荘を構えたことで」として、その表現を一本化することで伝えやすい文章にさせていただくというところでございます。

続きまして、3項目目が28ページになります。こちら上段の(1)基本理念の2段落目の記載になります。こちらにつきましては、基本的な第五次葉山町総合計画の内容を端的に書くよう修正前の記載をさせていただいていたところですが、要素を詰め込みすぎて文章が長くなってしまったというところを反省させていただいて、修正後に関しましては、総合計画に記載されている記載の内容の一部をそのまま転用するような形で書かせていただいております。具体的には、修正後の3行目、「自立しつつ、人・地域・自然など葉山を織りなす様々なものにつながるまちの実現」という記載が総合計画の中にごございましたので、そちらを活かすかたちに改めさせていただいたというところでございます。

4項目目になります。同じページの20行目からに書かせていただいております。素案では、(2)将来都市像の2段落目になります。ここは将来都市像の説明でありましたが、修正前については「本計画は」から始まり、「将来都市像について」というところの主語が少し見えづらくなっていたところを反省いたしまして、修正後に関しては「将来都市像は」を主語にして、将来都市像の目的を明確にさせていただいたというところでございます。

5項目目になります。1枚おめくりいただいて左側です。一番下に参考ということで、葉山町の第五次総合計画を引用した人口減少の説明の資料を付けさせていただいております。こちらについては前回の審議会の中で、小川委員の方から「神奈川県が持っている人口フレームの推計の人数と、この葉山町が推計した人口推計の表、二つの情報があるので、今紛らわしくなっていて、読み手にうまく伝わらないところがあるのではないか」というご指摘をいただいております。前回の審議会でもご案内させていただきましたが、今回の参考の説明資料については「将来人口の傾向を算出するために、葉山町が独自で算出したもの」という注意書きを付記させていただいて、その違いが分かるように明示させていただいたものでございます。

次の6項目目になります。少し飛びまして83ページです。こちら、1項目目①地域の将来像の二つ目の「都市施設の整備では、」から始まる文言になります。こちらについても前回の審議会の中で小川委員よりご指摘いただきまして、市街化調整区域内の方針になるんですが、修正前のところに「市街地整備によって」というような記載がございました。市街化調整区域内に市街地整備という表現で表すのは、あまり適切ではないとご指摘いただいていたので、そちらについては今回削らせていただいて、修正後でいうと「自然を活かした都市計画の形成を目指す」とともに「自然とまちが」という形で整理させていただいたところでございます。

最後の7項目目になります。こちらについては、前回の審議会の中では待寺委員から少しご提案いただいたところを反映させていただいております。全部で4か所ございますが、代表的な44ページの方をご覧くださいと思います。③都市計画道路の整備、④その他というところの2段落目です。「防災・減災の観点から無電柱化の研究に取り組みます」というような記載で前回ご案内させていただきましたが、今回こちらにも総合計画、あるいは所管である道路河川課と調整をしまして、最新の状況ということで「県と連携し、無電柱化の取り組みをすすめます」という記載に改めさせ

ていただきました。総合計画が昨年の 11 月～12 月の情報をもとに進めているところ
でございましたが、そこから 1 年を経て、無電柱化については一定程度取り組むこと
ができるということが確認できましたので、このような記載とさせていただいてお
ります。

大項目の 4 に移ります。記載誤りの修正です。大変申し訳ございませんでした。こ
ちらについては正誤表ということでご案内させていただければと思っております。

1 項目が 4 ページです。こちらに葉山町都市計画マスタープランと関連計画の関係
というところの表がございましたけれども、こちら現行計画から踏襲する形でそのま
ま記載させていただいている内容ではございますが、『都市計画マスタープラン』か
らですね、『葉山町の都市づくり』のところへ繋がる矢印が抜けており失礼いたしま
した。

続きまして、4 項目目 8 ページです。表が二つございまして、そのうち下の表にな
ります。こちらのタイトルの表記なんです、修正前が、「年齢区分別推計人口割合
の推移」ということで推計と入っておりましたが、こちらはもう実績になりますので、
推計ではないため、推計を削除させていただいております。失礼いたしました。

次に 10 ページ目になりますが、こちら下の方の表のタイトルということになってお
ります。「流入・流出人口及び」という記載がございましたが、これは昼夜間人口の
みの推移となりますので、そちらの部分の削るかたちとなっております。

最後に、4 項目目 30 ページです。先ほど小川委員からもご指摘いただいた表の部
分になりますけれども、出典に誤って「国勢調査」と書いておりましたが、正しくは
先ほど申し上げたとおり「第五次葉山町総合計画」となりますので、修正させてい
ただければと思います。

今回の変更・修正についての説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

【苦瀬委員】 ありがとうございます。ただいまのご説明につきまして、何か質問は
ございますか。一つだけ私から確認ですが、この正誤表っていうのは、正誤表がここ
にあって、でも直したよってことですね。

【伊藤課長補佐】 失礼しました。本日お渡しした案は（正誤表の）正にある表記に直
しているものです。

【待寺委員】 表現の問題なので特に問題がないと思うんですが、総合計画審議会の委
員を務めていたりすると、「自分らしくつながるまち」というところが非常に総合
計画審議会の中でも非常にいろんな方から意見が出て、こういった表現に変わって
いったということがありますので、この表現をそのまま使っているのかなとは思って
いたんですが、それを「自立しつつ」というところに変えたということによろしいで
すか。

【伊藤課長補佐】 そうですね。実際「自立しつつ」という言葉を総合計画の中でも使わ

れている部分もございましたので、そこも踏まえて総合計画の中で書かせていただいております。

【苦瀬会長】他にいかがでございましょうか。

私も細かいことで恐縮ですが、30 ページの今回修正された文章ですけれども、参考のところで、『将来人口の傾向を算出するために葉山町が独自で算出した』の『算出』が連続しているようでね、非常に簡単に言えば『将来人口は葉山町が独自で算出したもの』でも良さそうだなって思っ。ちょっと事務的にチェックしてくれますか。

【伊藤課長補佐】はい。ありがとうございます。

【待寺委員】 この人口の推計のところなのですが、これ総合計画でもかなり議論があったと思うんですが、今 2030 年が 31,519 人という数字を出しているんですが、これ現状がこの数字になってますよね。かなり人口減少が将来予測より速いペースで来ているので、これどこかでこの表をずっと 2040 年まで生きてしまうのか。総合計画の方でもそうだと思うんですが、その辺ちょっと総合計画とも含めてですね、将来人口の推計については、なるべく直近の数字と、傾斜率みたいなのを読んでやっていった方がいいのかなとちょっと思いましたので。その辺また総合計画の所管の政策課と打ち合わせも含めてやっていただければと思います。

【苦瀬会長】 ありがとうございます。今回はこれでいいですね。ただそういう現状があるから、少しずつ考えませんかということですね。他にいかがですか。

【待寺委員】 電柱は一步進んだということですかね。

【伊藤課長補佐】 はい、そう認識しております。

【小川委員】 一番最後の 93 ページですね、PDCA ということで、非常に画期的というか、良い考え方だと思いますが、本文にも記載がございますけれども、2 行目に「この基本の方針に基づく、各種の施策、部門別計画などに関する関連事業については、『葉山町総合計画』の実施計画に位置付けられ、定期的に進捗状況を確認していきます。」ということですので、例えばどういう推進体制みたいなもので、この進捗状況を確認していくのかの町の中ですね、それが 1 点気になるのと、それから各種の政策や計画というのは、もちろん現時点で全てイメージができないのかもしれませんが、当然総合計画に位置付けられているもので、都市マス関連のものというのはかなりあると思うので、それをある程度ターゲットを整理しておくのも必要ではないかなというふうに感じた次第です。いずれにしても、町で適切に進行管理をされていくというこの考え方は非常に良いと思いますので、ぜひ進めていただければと思います。よろしく願いいたします。

【苦瀬会長】 93 ページに関しては、私も前に申し上げたと思います。PDCA という言葉が、「Plan-Do-Check-Action」という人もいるし、「Plan-Do-Check-Act」という人もいて、どちらが多数説なのか、私もよく分かってないんでね。神奈川県とかね、そういうところで使っている言葉とうまく合わせた方がいいかもしれませんね。そこだけお気をつけください。分かって使っているということであれば全然構わないですけどね。はい、すみません。他にいかがでございますか。

【待寺委員】 今のところの進行管理の予定なんですが、総合計画でこのアセスメントというのをその時の会長がご提案いただいて、こういった PDCA に加えていったという経緯がありました。総合計画の場合は基本計画を4年1期で4期という形なので、例えば都市計画マスタープランも同じ期間にするのであれば、4年ごとにチェックするというふうに考えておいてよろしいんですかね。

【伊藤課長補佐】 実際この箇所に関しても、（総合計画の）担当より総合計画におけるチェックに関しては、予算策定時に実施計画を照らし合わせて管理をさせていただくと伺っておりまして、その中で都市計画部門に関する情報については、都度、調整させていただこうと思っているので、その中で動きを把握しておこうと思っております。ただ実際にこのマスタープラン自体の改変に踏み込むかどうかは別の問題なので、それが4年に1度というわけではないです。逆に言えば早いタイミングで大きな変更があれば、それらを追加していくというのは、この計画の中でも機能的な見直しというような形で書かせていただいているので、検討すべきと考えています。

【苦瀬会長】 ありがとうございます。他にご意見・ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、意見も出尽くしたようなので、まとめたいと思います。今回、出た意見の中で踏まえてですが、ご指摘いただいている部分は事務局にお任せしたいと思いますけれども、今回の意見を踏まえて、このマスタープランを妥当だということで、町長に答申を申し上げてよいか、ということでございますが、異議はございませんか。

【一同】 異議なし。

【苦瀬会長】 ありがとうございます。それでは、具体的な答申案については「妥当である」ということを入れて文書を作成したいと思いますので、私、会長に一任させていただきます。よろしゅうございましょうか。

【一同】 異議なし。

【苦瀬会長】 ありがとうございます。それでは、議事の2番目の議案第35号 葉山

町都市計画マスタープランの改定についての答申が決まりましたので、その他にいき
たいと思います。事務局お願いします。

【伊藤課長補佐】 今回その他については特にございませんが、予定どおりにいきます
と年内にはこちらのまとめが終わりまして、都市計画マスタープランが策定されるか
たちになると思いますので、できましたらまた改めて委員の皆さんにご案内させてい
ただこうと思いますのでよろしくお願いいたします。以上となります。

【苦瀬会長】 そうしますと、今回の議事は終了ということですので、あとは事務局に
お返しします。

【松井課長】 それでは1年以上に渡りまして都市計画マスタープランについてご審議
を賜りまして誠にありがとうございます。本日をもちまして、都市計画マスタープラ
ンを本年中にまとめさせていただいて、校了という形を取らせていただきます。今後
ともどうぞよろしくお願いいたします。本日は貴重なお時間・ご意見ありがとうございます。

以上会議の顛末を記載し、その相違のないことを証し署名する。

令和8年 2 月 16 日

署 名 委 員

津 吉 彰 郎

署 名 委 員

待 寺 真 司